

VI 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	吉 田 正 昭
副 委 員 長	神 田 雅 彦
委 員	村 田 健太郎
委 員	後 藤 尚 人
委 員	木 下 眞 吾
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	加 藤 俊 男
委 員	濱 田 憲 司

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

社会教育委員会議の構成

- ・ 会議の種類 定例会 (年2回開催6月・11月)
- ・ 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐

② 会議の運営状況

令和元年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和元年 6月11日(火) (定例会)	【協議事項】 1 平成30年度事業報告について ア 生涯学習課事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 2 令和元年度事業計画について ア 生涯学習課事業計画について イ 蟹江町図書館事業計画について
開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和元年 11月15日(金) (定例会)	【協議事項】 1 令和元年度事業中間(上半期4月～9月)報告について ア 生涯学習課事業について

	イ 図書館事業について 2 令和2年度事業計画(案)について ア 生涯学習課事業計画(案)について イ 図書館事業計画(案)について
--	---

2 生涯学習係

(1) 公民館事業

講座・各種教室の開催（令和元年度実績）

① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
若者交流カフェ教室	5回	20人	17人
親父の料理教室	4回	各24人	15人、13人、13人、13人
スマホの使い方マナー講座	3回	20人	22人
美しいボールペン字・筆ペン字教室	夏期4回 秋期4回	各期15人	夏期：15人 秋期：15人

② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。講座内容については、参加者に対するアンケート調査を実施し、町民のニーズに応えられるよう努めている。今後も、状況を把握しながら取り組んでいきたい。

(2) 家庭教育・人権教育

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	4回	20組40人	8組16人	蟹江中央公民館分館
親と子の料理教室	1回	12組24人	11組22人	蟹江中央公民館分館
ちょこっと探検隊	1回	20組40人	18組36人	愛知県防災航空隊 ぎふ清流里山公園
親子キャンプ教室	1回	70人	※台風接近に 伴い事業中止	

〔点検・評価〕

親と子の料理教室は、ミニカステラに、アイシングクリームを使用して、動物の絵等を書く内容だった為、とても人気があり、申込者が多く抽選となった。

今後も、親子で手軽に出来る料理（お菓子）教室を開催していきたい。

親子キャンプ教室については、平成26年度から、つぐ高原グリーンパークで事業を行っており、毎回、申込者数も多く抽選となっている。今回も昨年度に続き台風接近により参加者の安全を考えた結果、事業を中止とした。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども体験教室	1回	15人	25人	蟹江中央公民館
楽しい工作教室	2回	各20人	18人、13人	蟹江中央公民館
わんぱく料理教室	1回	24人	24人	蟹江中央公民館
木工体験教室	2回	各15人	15人、15人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動を取ることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

開催日：令和2年1月12日(日) 対象者：404人 参加者：276人

③ 蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業

町在住の中学生を沖縄県読谷村へ派遣し、地元中学生との交流や民泊をとおり、伝統・文化を学ぶ。

派遣日：令和元年8月22日(木)～24日(土)

募集人員：12人

参加者：13人

① 青少年健全育成運動

開催日：令和元年7月25日(木)、令和元年11月26日(火)

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

子ども体験教室は、昨年に引き続き「実験」をテーマに、スライム作り・磁石の力を利用したおもちゃ作りを開催し、遊びながらその原理を学んだ。

今後も子どもたちの達成感や探究心を育てていける内容及び教室づくりに努めていく必要がある。

成人式は、町外へ転出している方も、手続きを経て当町で出席できるため、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

生涯学習課事業として3年目となる蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業は、

今回は、読谷村の中学生から、地域伝統文化の「棒術」を蟹江町の中学生に対し直接、教えていただき最後には合同で披露した。さらに民泊の方との交流や、旧海軍指令部豪及び首里城を見学し沖縄県の歴史、文化を肌で感じる事ができた。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し支援する。

9部門 50団体 622人 補助金1,115,950円

② 蟹江町婦人会

婦人(女性)の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 16,545世帯 補助金1,277,250円

③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 2,859人 交付金1,306,560円

[点検・評価]

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金(交付金)を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 令和元年7月7日(日)
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館集会室

○生涯学習文化交流会

蟹江町 蟹江町スポーツ少年団 TEAM☆K
愛知県設楽町 田峯念仏踊保存会 入場者 410人

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体(または個人)の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 令和元年11月2日(土)・3日(日)
展示の部 1,811人
芸能の部 298人
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「生涯学習文化交流会」として、愛知県設楽町の芸能団体を招待し開催した。今回は田峯念仏踊保存会の「念仏踊り」、蟹江町はスポーツ少年団加盟のTEAM☆Kで「チアダンス」を披露した。

アンケートの結果、多くの来場者が満足する結果となったが、若い世代の参加が少なかったため、今後の課題として、その世代のニーズを把握しながら、どのような内容で実施していくかを検討していく。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数	281日
入館者数	16,413人(490人)
1日当たり	58人

〔点検・評価〕

令和元年度は、年度末に新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、休館となったため、平成30年度に比べ入館者数が若干減少となったが、それ以外の時期では来館者数は増えており、一日あたりの人数も多くなっている。今後も魅力ある展示や講座を実施することで、多くの方に来ていただけるようにしていきたい。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,309点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料などを購入した。

黒川紀章作版画額装 1点

小酒井不木掛軸 5点

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から関連資料51点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

令和元年度においては、購入資料6点、寄贈資料51点、合計57点の資料を収蔵した。

購入資料については、町民の方の理解を得るため、定期的に公開をしている。資料の寄贈・寄託については、持ち主の方から資料館の役割についての理解と信頼をいただくことが必要であるため、期待に沿えるような活動を行わなくてはならない。

一方で、資料の数は年々増加しており、収容力不足となりつつある。この現状をいかに解消するのかが課題となっている。また、収蔵資料は保管するだけ

でなく、整理した情報をデータ化し、調査・研究のために活用しやすい状態にしておくことが大切である。資料保存のための周辺設備とともに、管理体制も充実させる必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。さらに、購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えることで、常設展示の充実を図った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する特別展・企画展を実施した。

ア 特別展

- ・町制施行130周年記念特別展「蟹江町130年のあゆみ」

展示場所 企画展示室

展示期間 令和元年10月1日(火)～12月1日(日) 来館者数2,920人

イ 企画展

- ・「須成祭パネル展」

展示場所 観光交流センター「祭人」 多目的室

展示期間 令和元年7月15日(月)～8月4日(日)

- ・「かにえ生きもの写真展」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 令和元年7月24日(水)～8月22日(木)

- ・「エコきつず調査隊成果発表展」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 令和元年8月23日(金)～9月8日(日)

- ・「伊勢湾台風写真展」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 令和元年9月10日(火)～9月29日(日)

- ・「伊勢湾台風新聞資料展」

展示場所 図書館 ギャラリー

展示期間 令和元年9月10日(火)～9月29日(日)

- ・「日本の郷土びな」

展示場所 歴史民俗資料館 企画展示室

展示期間 令和2年2月1日(土)～3月4日(水) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館により、3月8日(日)までの予定を変更)

〔点検・評価〕

展示活動は、収集した資料などを調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

令和元年度は、町制施行130周年記念特別展「蟹江町130周年のあゆみ」では、町制施行130周年を記念して関係各課と協力して展示や記念冊子作成、見学会等を実施することができ、町内外からも反響があった。

また、伊勢湾台風での被災から60年という節目の年となったことから企画展「伊勢湾台風写真展」と「伊勢湾台風新聞資料展」を同時開催したところ、多くの方に見学いただき、体験談などの新しい情報を得ることができた。

特別展・企画展を開催することで、調査・研究の成果を示すことができるだけでなく、リピーターを増やす効果も期待できる。今後も継続的に実施して資料館活動を充実させていくべきである。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

愛知県史編纂等にもなう調査や学生の卒業論文作成のための調査等への協力を、依頼に応じて随時行った。

[点検・評価]

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になると思われる。

(5) 情報提供

① 各種印刷物の発行

「歴史民俗資料館年報第40冊」発刊

「蟹江町制施行130周年記念 蟹江町130年のあゆみ」発行

歴史民俗資料館パンフレット発行

② 関連機関発行の印刷物等への情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

[点検・評価]

歴史民俗資料館年報第40冊については、前年度の事業報告だけでなく、過去10年間の事業をまとめて報告した。「蟹江町制施行130周年記念 蟹江町130年のあゆみ」は、蟹江町制施行以降の年表や主な出来事の解説、地図等で蟹江町のあゆみを紹介したもので、特別展会場で配布したほか、町制施行130周年に関わる行事の来場者等に配布した。

近年、地域情報を掲載する地域誌やホームページ運営者からの情報提供の依頼が増加している。そのような外部からの依頼に対応するだけでなく、今後は町のホームページ等を利用し、こちらからも積極的に情報を発信することも重要だと感じている。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	中央公民館分館ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8回	30人	33人
「かにえ地域学」講座	5回	20人	18人
環境学習 エコきつず調査隊	4回	25人	25人
須成祭マイスター養成講座	10回	15人	12人
郷土体験学習会	3回	25人	3回計69人

※3月に開催を計画していた「かにえ地域学」講座最終回及び文化財研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、7月開催予定だった郷土体験学習会は台風接近のため中止となった。

② 出前講座

町民に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が地域に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	団体名等	内容	人数
令和元年5月23日(木)	駅前団地 ふれあいサロン	蟹江の歴史と文化	15人
令和元年6月26日(水)	西北老人クラブ	蟹江の歴史と文化	53人
令和元年7月17日(水)	舟入ふれあいプラザ 健康体操グループ	蟹江の歴史と文化	17人
令和元年8月27日(火)	舟入水辺のサロン	蟹江の歴史と文化	25人
令和元年9月7日(土)	平安サロン	蟹江のまちのうつり かわりについて	15人
令和元年9月12日(木)	駅前団地ふれあいサロ ン	蟹江城について	15人
令和元年10月29日(火)	舟入水辺のサロン	蟹江城について	18人
令和元年11月6日(水)	蟹江町社会福祉協議会	写真で見る蟹江の歴史	23人
令和元年11月28日(木)	駅前団地 ふれあいサロン	須成祭について	15人
令和2年1月28日(火)	舟入水辺のサロン	小酒井不木について	25人

③ 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	学校	内容
令和元年6月4日(火)	蟹江小学校	蟹江のまちのうつりかわりについて
令和元年6月14日(金)	蟹江小学校	須成祭について
令和元年6月25日(火)	新蟹江小学校	蟹江のまちのうつりかわりについて
令和元年10月2日(水)	新蟹江小学校	蟹江の郷土食について
令和元年10月18日(金)	蟹江小学校	昔のくらしの道具① 昔の道具

[点検・評価]

令和元年度は、町制施行130周年をきっかけに蟹江町の歴史や文化を学ぶ取り組みとして、出前講座を立ち上げたところ、多数の申し込みがあり、令和2年度以降も継続して実施していくべきだと感じた。歴史文化への関心が高まる中、今後も様々なニーズに応えられるよう努力を続けていきたい。

また、出前授業では、学校の調べ学習の一環として活用していただき、学校での児童の学習発表へとつなげる取り組みも行われている。学校との連携をいっそう深めることができるよう努力したい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護に係る経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図るなど、人的・物的支援を実施した。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め5事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め19件

町費補助額：3,106,000円

(2) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開する予定であったが、台風接近のため、中止となった。

(3) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(4) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し、県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の研修や啓発活動を実施した。

〔点検・評価〕

文化財保護等補助事業など、町内の文化財の継承を支援する事業等を中心に実施した。文化財をとりまく動きについては、近年、災害から文化財をどう守るかということや、教育や観光にどのように活用するのか、といったことが課題となっている。蟹江町においても、文化財の保存・活用についての長期的な計画を作成すべきであり、令和2年度以降、計画作成に取り組みたい。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

各種スポーツ教室

令和元年度より、生き生きかにえスポーツクラブに事業委託し、町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
美・Bodyエクササイズ	5回	40人	26人	蟹江町体育館
親子体操教室	4回	20組40人	10組20人	中央公民館分館
スナッグゴルフ教室	3回	30人	37人	蟹江町体育館
ナイトヨガ教室	5回	40人	21人	中央公民館分館
やさしいエアロビクス教室	4回	40人	8人	蟹江町体育館

〔点検・評価〕

令和元年度より、生涯スポーツ事業の一部を生き生きかにえスポーツクラブに事業委託した。今後も相互の連携向上を図りつつ、住民ニーズを把握しながら事業展開していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民の体力維持・向上を目指し、スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

- ① スポーツ推進委員 任期 平成30年度・令和元年度 18人
- ② 地区スポーツ協力員 任期 令和元年度・令和2年度 43人
- ③ 各種講習会
・指導者研修会

町制施行130周年記念事業スポーツフェスティバルの開催に向け、ス

スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】 ドッジボール、グランドゴルフ、ストラックアウト、ネットパスラリー、ラダーゲッター、救命講習

・スポーツ推進委員各種研修会

【種目】 ピラティス、姿勢調整術、ウエルビクス運動

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、各種研修会へ積極的に参加することにより、資質向上を目指して取り組んでいく。

また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進していくことが重要であり、その中心的存在は、スポーツ推進委員や地区スポーツ協力員である。よって、相互が連携し各地域での活動を広げていく必要がある。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得。

・役員 理事 4人 監事 1人

・会員数 373人

・講座数 通常講座 16講座 特別短期 6講座

・イベント 4回（伊勢神宮散策など）

・交付金等 交付金 2,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し支援する。

・16団体 1,122人 補助金 2,306,400円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団体の活動に対し、指導・育成する。

・16単位団 団員567人 指導者132人 補助金767,200円

〔点検・評価〕

令和元年度は、総合型地域スポーツクラブ「生き生きかにえスポーツクラブ」が設立10周年を迎えた。会員数は横ばい傾向であるが、順調に運営されている。

今後も、クラブ会員の増員を図ることや、各スポーツ団体や生涯学習課との連携を図りながら、事業展開の必要がある。

また、体育協会・スポーツ少年団に関しては、事務庶務などを生涯学習課から移譲することが課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① 町制施行130周年記念事業 スポーツフェスティバル

気軽に楽しむことができるスポーツを通して、家族間、友人間の親睦を図るとともに、個人の健康維持を保つ目的で開催した。

また、令和元年度は「綱引き」も実施し、子ども達の一所懸命な姿や応援する家族、役員の掛け声等、会場が一丸となり盛況であった。

- ・開催日 令和元年10月6日(日) 参加者数 112人
- ・開催場所 日光川ウォーターパーク

② 第40回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。平成27年度より蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部である5人1組で約7.5kmを走る部門及び小学生以外の部の5人1組で13kmを走る部門の2部制で実施した。

- ・開催日 令和2年1月26日(日) 参加チーム 76チーム
- ・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺

③ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・開催日 令和元年6月9日(日)開催場所 三重県伊勢市 44人
- ・開催日 令和元年11月9日(土)開催場所 愛知県豊田市 49人

④ 愛知万博メモリアル第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・開催日 令和元年12月7日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園
- ・内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走
- ・出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定
- ・成績 町村の部 16町村中9位

[点検・評価]

昨今の健康志向により、豊かな自然や町並み散策を兼ねたウォーキングへの関心は高くなっているが申込者は横ばい状態である。蟹江町駅伝大会は、平成27年度より会場を新蟹江小学校周辺から希望の丘広場周辺に変更して行っている。スポーツフェスティバルについては、今後もより多くの住民が参加したいと思うイベントにしていきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 9人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会などに選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 4人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町体育協会などの実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 5月発行 1,000部

[点検・評価]

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合に、表彰や奨励金を支給しており、そのことが、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

女性教育研修会

蟹江町婦人会代表者研修

社会教育活動を推進するため、地域活動の担い手に対して社会教育活動を企画実施するうえで必要な知識や技術の習得を行う。また、市町村を越えた情報交換の機会を設け、地域及び県域で社会教育を担う指導者としての資質向上を図る。

[点検・評価]

国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業などに参加した。
また、政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、資質向上を図る研修事業などへの参加を求めている。

7 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

① 中央公民館分館1・3階の空調設備改修工事を実施した。

蟹江中央公民館分館空調設備改修工事 29,700,000円

② 生涯学習施設をPRし、使用方法などを周知し、より一層の利用促進を図った。

③ 町内の小・中学校の屋内、屋外体育施設（学校体育施設）を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るために開放した。

〔点検・評価〕

中央公民館分館1・3階の空調設備改修工事を行うことで、快適に施設を利用してもらうことができるようになった。また、新しい機器を入れたことによって、電気料の削減も期待できる。

また、生涯学習施設は全体的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要であるため今後、改修計画などを立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。